

第4学年3組 防災教育活動案

第3時限 4年3組教室 指導者 上田 富喜子

1 単元 いざというときのために一大地震から身を守る一

2 目 標

- (1) 地震防災について関心を持ち、防災への意識を高めることができる。
- (2) 大地震から身を守るために、どんなことをしたらよいかを調べたり、考えあったりすることができる。
- (3) 地震防災に対する自分の考えを明らかにし、その考えを他へ広めることができる。
- (4) 地震防災に関する資料・体験をもとに、地震についての学びを深めることができる。

3 単元にかける願い

4年生の子どもたちは、昨年より地震防災教育を受けており、大地震体験者の話を聞いたり、防災倉庫の見学、ナマズ号体験やどんなものを用意しておいたらよいかなどの学習を積んでいる。また、親子で地震防災フェスタに参加しているので、家庭でも地震のための準備をしようと動き始めたところである。

「東海地震は、いつ起きても不思議はない」と言われ、西尾市も東海地震の防災対策強化地域に指定されている。しかしここ60年大地震はなく、大地震の怖さは、人々の記憶から失われ、絵空事のように感じていることも事実である。そのため、毎年着実に地震防災教育を行っていくことは、子どもたちのまた、家庭の意識の持続のために重要なことと考える。

地震対策については、子どもたちが一人でできることはとても少ない。しかし、自分の家の様子を調べたり、自分ができることを考え、行動していくことを通して、子どもたちが自らの防災意識を高めていくようにしたい。そのことで、家庭にも刺激を与えることができると考える。いざという時に、落ち着いて安全に行動できるための態度と能力を身につけていってほしいと思う。

4 学習計画（10時間完了）

- (1) 自分の家では、地震のためにどんなことをしているのか調べよう。……（1時間）
 - ・水・非常食・非常持ち出し袋の準備
 - ・避難場所や避難の仕方の確認
 - ・家具が倒れてこないための準備
- (2) 地震対策で、自分のできることを考え、行動しよう。……（4時間）本時1／4
 - ・家の中がより安全になるために家具の配置を考える
 - ・家族がバラバラになった時の約束事を決める
 - ・地震防災マップを見て、校区の危険箇所・役に立つところを知る
- (3) 地震防災フェスタに参加して、より意識を高めよう。……（4時間）
- (4) 我が家の地震防災について作文を書き、学習をまとめる。……（1時間）

5 本時の学習

(1) 目 標

・地震時における家の中の危険性について知り、対策について発表し合うことを通して、防災意識を高めることができる。

(2) 準 備

- ・教師 家具の配置図（拡大版） 感想カード
- ・児童 我が家の防災対策（調べてきたもの・実物）

(3) 展 開

時間	児 童 の 活 動	教 師 の 手 だ て
(分) 7	1 阪神淡路大震災の時の死因は、何が一番多かったかを知る。 ・死者の96%は、自宅での圧死。	・予想させ、理由を言わせることで、現実感を持たせる。
	地震の時の家の中の様子を想像し、より安全になるための方法を考えよう。	
10	2 モデル部屋を見て、地震時に危険だと思うところを理由をつけて、発表する。 ・テレビが飛んでくる。 ・家具が倒れてくる。 ・ガラスが飛び散ってくる。	・子どもたちが同じ条件で話し合えるように、モデル部屋で考えさせる。
20	3 よりよい方法を考える。 ・転倒防止器具をつけたり、飛散防止フィルムをガラスにつける。 ・頭の方を、守るように家具の配置を考える。 ・重たい家具は、できるだけ低くする。 ・スリッパや懐中電灯・笛の準備をする。	・子どもたちの調べ学習をもとに、実物や写真をできるだけ持ってきてさせ、説明させる。 ・身近なけがの予防として家具や器具の固定が有効であることを理解し、その一例として、ゲルマットの効果を実験を通して知らせる。
8	4 我が家に必要な防災対策案を考える。 ・家具の転倒などでけがをしないために・・・ ・僕の家ですぐにやった方がいいと思うことは、・・・。	・学習したことを、自分の家にあてはめ、学習のまとめにする。

(4) 評 価

・家の中の危険に気づき、その防災対策を考えることができたか。

（発表の様子・感想カード）